

北陸大学図書館報

NO.59



図書館長・医療保健学部教授

清水 芳行

図書館報をご覧いただきありがとうございます。

今年度より図書館長を拝命いたしました医療保健学部の清水芳行です。

趣味「各地の図書館巡り」の私にとって、大好きな図書館に携わることができること、心から嬉しく思っております。大学図書館には課題も多くありますが、学生のみなさんや利用者の方々にとっての「快適で楽しい図書館」を目指し、教職員の皆様方とともに努力してまいります。何卒、宜しく願い申し上げます。

さて、近年、若者の「活字離れ」がしばしば指摘されています。スマートフォンやSNSが日常生活の中心となり、短く、速く、視覚的に情報を得ることが主流になった現代においては、確かに分厚い本を手にする機会は減ったかもしれません。しかし一方で、全国各地では図書館が新たな形で生まれ変わり、人々の集う場として注目を集めています。石川県立図書館もその象徴的な存在です。モダンで開放的な空間には、静けさとにぎわいが共存し、子どもから高齢者までが思い思いに時間を過ごしています。そこには、単に「本を読む場所」ではなく、「人と知が会う場」としての図書館の新たな価値が息づいています。

図書館は、知識の宝庫であると同時に、学びの拠点でもあります。地域の行政や教育機関、民間企業と連携しながら、多様な知の交流が生まれる空間として再定義されつつあります。講演会や展示、読書会、ワークショップなどを通じ、図書館は「情報を得る場」から「創造を育む場」へと変化しています。これはまさに、大学の使命とも重なる動きです。

北陸大学においても、図書館は学びの中核を担う場所です。専門書を通して深める学問の世界、偶然手にした一冊から広がる新たな発想。その出会いの積み重ねが、学生一人ひとりの成長を支えています。デジタル情報があふれる時代だからこそ、静かなページをめくる体験の中にこそ「考える力」が育まれると感じます。

今、求められているのは、「本を読むこと」そのものよりも、「本を通して世界とつながること」ではないでしょうか。図書館はそのための扉です。本に囲まれ、自分の関心や問いを見つめ直し、知識や興味を他者と共有する……。そんな豊かな学びの循環を、大学図書館から再び広げていきたいと思えます。

図書館が未来を照らす「知の広場」であり続けることを願ってやみません。

◆◆図書館Q&A キホンのキ◆◆

Q. 読みたい本がどこにあるのかわからない！

A. 蔵書検索（OPAC）を使って検索してみましょう。

<図書館 HP から>



<スマホから>



※図書館内にも OPAC の PC が設置されています。

Q. 読みたい本が見つかった！どうやって借りるの？

A. 本と学生証をカウンターまでお持ちください。



Q. 読みたい本が図書館に所蔵されていなかった！

A. リクエスト、相互利用、石川県内図書館ネットワークを利用しましょう。
申込用紙はカウンターにあります。

<リクエスト>

読みたい本を図書館が代わりに購入し、図書館の蔵書とするものです。（学生のみ）

<相互利用>

他機関から取り寄せる方法です。（送料は実費）

<石川県内図書館ネットワーク>

石川県立図書館を中継点とし、ネットワークに参加している県内の公共図書館や大学図書館から本を借りる方法です。（無料。ただし到着まで10日前後かかります）

石川県内図書館横断検索

Q. レポートや卒論を書く際に必要な論文を読みたい。

A. 図書館で契約している電子ジャーナル・データベースから入手ができます。その他、他機関から複写を取り寄せることもできます。（取り寄せは複写代・郵送代実費）

Q. 今借りている本の返却期限を延長したい。

A. 次に借りたい人がいない場合、1 週間延長することができます。カウンターにお越しいただくか、メール、電話でも対応します。また、My OPAC に登録すると、自宅からでも延長することができます。

<My OPAC とは>

自分のパソコンやスマホで貸出状況や返却日を確認したり、資料の予約や購入希望などの申請ができます。（要登録）



※ID・パスワードはHU アカウントと同一です

Q. 自宅から閲覧できる図書館サービスはあるの？

A. あります！

<利用できる主なサービス>※ID・パスワードにつきましては図書館までお問い合わせください。

【電子書籍】

- ・KinoDen (紀伊國屋書店学術電子図書館) ※図書館で購入した電子書籍のみ利用可能
シリアルコードから (3 ヶ月毎にメールにてお知らせ)
- ・Maruzen eBook Library (丸善雄松堂電子書籍配信サービス) ※図書館で購入した電子書籍のみ利用可能
学内で登録後、学外から閲覧可
- ・メディカルオンライン ※図書館で購入した電子書籍(医学系)のみ利用可能
ID・パスワードから

【電子ジャーナル・データベース】

- ・医書 jp (医学・薬学・リハビリテーションを中心とした 129 誌(約 66 万件)の論文を閲覧・ダウンロード可)
施設共通 ID・パスワード
- ・メディカルオンライン (医学関連分野の必要な文献を全文閲覧・ダウンロード可)
ID・パスワードから
- ・ビジュランクラウド (医学映像教育センターが提供する動画配信)
ID・パスワードから
- ・Elsevier Science Direct (学内で登録後、Pay Per View にてダウンロード可)



『傲慢と善良』

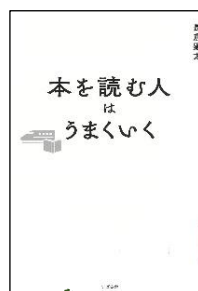
辻村深月著（朝日新聞出版）

この本は、就職・結婚・人間関係に悩みながら「自分らしく生きるとは何か」を模索しているすべての人に強く響く物語です。

テーマは、人の中に同時に存在する「傲慢さ」と「善良さ」。

読み終えた後には、他人に期待するよりも「自分に期待すること」の大切さに気づかせてくれるでしょう。

【薬学部薬学科6年 中川 さや華】



『本を読む人はうまくいく』
長倉顕太著（すばる舎）

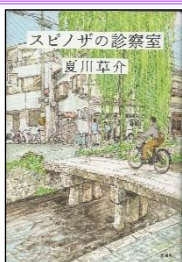
読書とは、コツを掴めば誰でも気軽にはじめられ、最高のリターンが約束されている投資のようなものだと思わされた。

かつて出版編集者を務めていた著者が、本を読むことのメリットを多様な切り口から論じている本作には、本の選び方や活用法、101冊のおすすめ本紹介なども掲載されており実用性に富んだ一冊だ。

【経済経営学部マネジメント学科4年 富沢 暖】



私たちのおすすめ本



『スピノザの診察室』

夏川草介著(水鈴社)

終末医療に携わる医師の視点から、完治・延命といった結果を求める「完璧な医療」でなく、本書が描くのは終末に至るまでのその人の生き方を尊重した「正解のない医療」です。そこでは、患者それぞれがどのように自分の病に向き合っているのか、その家族それぞれがどう支え・向き合っているかが描かれています。この作品が気づかせてくれるのは、「患者がどのように亡くなったか」ではなく「家族が生きている間にどのように接していけるか・接していったか」ということ。高齢者・終末医療の在り方に関心がある方におすすめです。

【薬学部薬学科1年 関原 綾美】



『学校が教えないほんとうの政治の話』
斉藤美奈子著(筑摩書房)

「右と左って、何が違うの？」—そんな疑問に対して、筆者は歴史を近代初期まで遡り、現代に至るまでの思想や立場の変遷を解説します。そして、自分自身の立ち位置を決めることこそが、政治に参加する第一歩であると語ります。「政治について語るにはまだ早い」と感じている方にこそ読んでほしい一冊です。

この本はちくまプリマー新書シリーズから出ています。ちくまプリマー新書は、学校や家庭、日常では触れにくい本質的なテーマを扱い、やさしく教えてくれる入門書です。科学、文学、哲学など幅広いジャンルが揃っています。他の本もぜひ手に取ってみてください。

【国際コミュニケーション学部国際コミュニケーション学科4年

徳堂 深月】

◆◆図書館をもっと利用しよう◆◆

図書館を利用する学生に、よく使うお気に入りの場所を教えてくださいました。

ここがおすすめ！

薬学部分館 4階

キャレルデスクコーナー

周囲に頑張っている人がおり、勉強に最適な環境であるため、講義の復習やテスト勉強のためによく図書館を利用しています。図書館には、友人と勉強できる大きな机や個人で集中して勉強できるキャレルデスクなどがあり、状況にあった場所で勉強できます。特にキャレルデスクは仕切りがついており、自分だけの空間として集中して勉強できます。また、机同士の距離も程よく、友人と一緒に図書館に来たけれど、自分の勉強に集中したいという方にもおすすめです。ぜひ、図書館4階にあるキャレルデスクを活用してみてください。



【薬学部薬学科6年 神門 宏香】

ここがおすすめ！

本館（太陽が丘）4階

理学療法学科書架 キャレルデスク

私は理学療法士になるため、講義の復習や試験勉強で図書館をよく利用しています。図書館の4階には、理学療法士を目指す学生にとって貴重な専門図書が数多く揃っており、日々の学習に非常に役立っています。私のお気に入りのスポットは、4階の理学療法学科書架の近くにあるキャレルデスクです。この場所は、勉強中に専門書を使いたくなった際、すぐに手に取って調べられる利便性があります。一人で集中して勉強したい方に特におすすめしたい場所です。また、理学療法学科の書架の隣には、医療技術学科や心理社会学科の図書も充実しており、多くの学生が利用しています。そのため、図書館は他学科の学生とも交流を深められたり、真剣に学ぶ姿から良い刺激を得られたりする環境にもなっています。これからも図書館を積極的に利用し、目標とする立派な理学療法士を目指していきたいと考えています。



【医療保健学部理学療法学科3年 割出 早稀】

ここがおすすめ！

本館（太陽が丘）4階

キャレルデスク

私のおすすめスポットは4階の窓際と反対にある勉強スポットです。そこではパソコンも充電できて個室のようなスペースになっているので、とても集中して勉強することが出来ます。北陸大学の図書館には、他の階にも必ず勉強スペースがありますが、私は特にそのスペースがお気に入りです。



【北陸大学広報メディア研究会部 LUHUS メンバー】

ここがおすすめ！

本館（太陽が丘）3階

リサーチルーム

私は大学3年生の秋頃から、就職試験の勉強をするために本学の図書館を利用していました。就職活動が終わった今でも講義の空き時間や部活動に行く前によく利用しています。太陽が丘の図書館には、1階のソファ、友人と勉強できる閲覧講義室、個人で集中して勉強できるキャレルデスクなど様々な閲覧席があります。その中でも自分は3階にある個室の様なリサーチルームをよく利用しています。静かな空間であり隣の方とはパーティションで仕切られており、何かに集中して取り組みたい方におすすめです。皆さんも図書館3階にあるリサーチルームをご利用ください。



【経済経営学部マネジメント学科4年 石山 凌】

ここがおすすめ！

本館（太陽が丘）2階

勉強コーナー

私は課題をするときに、図書館をよく利用しています。
なかでも、よく利用するのは自習室の前にある、本棚の裏スペースです。

本棚により仕切られているため、人が周りにいて集中できない、ということはありません。また、コンセントもあるので、パソコンで課題をするときにも利用できます。

もし、人がいる方が集中できるという場合は、仕切りのない勉強机を使用するのがいいと思います。

図書館は各階に、ものを広げやすい大きな机や、静かな環境があります。

勉強には最適だと思うので、自分のぴったりの場所を探して勉強に活用してみてください。



【国際コミュニケーション学部心理社会学科2年 三宅 友香】

私のおすすめスポットは、2階のエレベーターを右に出て突き当たりまで行ったところにある勉強デスクです。結構隅っこに1台だけあるので、ひとり空間で安心するし課題にも集中できるので好きです。

【北陸大学広報メディア研究会部 LUHUS メンバー】



◆◆ 寄贈図書 ◆◆



本学の役員・教職員から、下記のとおり図書の寄贈がありました。紙面を借りて厚く御礼申し上げます。

共訳著

寄贈者

『骨粗鬆症の診断と管理における骨代謝マーカーの役割についての最新情報
(コンセンサスペーパー)』

計 2 冊

三浦 雅一 (理事)

分担執筆

寄贈者

『能登と越中の土徳』

計 1 冊

福江 充 (国際コミュニケーション学部教授)

『医療系 IR の課題と挑戦』※

計 1 冊

杉森 公一 (高等教育推進センター教授)

『企業家活動と高付加価値—地域中小企業を中心に—』

計 2 冊

森田 聡 (経済経営学部准教授)

その他

寄贈者

『月まで三キロ』他

計 36 冊

泉 洋成

『森にあかりが灯るとき』他

計 12 冊

田邊 良和 (学術情報課長)

※分担執筆者の中には、野村政明薬学部教授、齋藤大明薬学部准教授も含む。



編集後記

今号では、図書館をよく利用する学生の皆さんにおすすめ本や図書館のお気に入りスポットを紹介してもらいました。皆さんのお気に入りの場所はどこですか？

自分のお気に入りのスポットを見つけて、思い思いの時間を過ごしてみてくださいね。

図書館に來たことがない皆さんも是非一度足を運んでみてください。

新たな発見があるかもしれません。スタッフ一同、図書館でお待ちしております。

北陸大学図書館報 No. 59 令和 7 (2025) 年 11 月 5 日発行

編集・発行：北陸大学図書館 〒920-1180 金沢市太陽が丘 1-1 TEL. 076-229-3021 FAX 076-229-4850

E メール：lib@hokuriku-u.ac.jp 北陸大学図書館ホームページ：<https://www.hokuriku-u.ac.jp/library/>

長期ビジョン

北陸大学 Vision50 (by2025) …… 2025年までに学生の成長力No.1の教育を実践する大学となる。